

R でチューキー・クレーマー検定 (45 種以上の場合)

清水顕史

Multcomp パッケージを利用した[チューキー・クレーマー検定](#)は、箱ヒゲ図に有意差を付けてくれるので非常に便利でしたが、比較数が 45 種以上の場合には対応していません。より多数の比較を行うには TukeyHSD 関数を使えばよいのですが、

例データとして、或るストレス条件でのイネ 112 品種の生育量のデータ [rice112var.txt](#) を利用します。Web ページのリンクからダウンロードしたファイルを、R の作業用フォルダに移動しておいてください。

Web ページのリンク [tukey_code2.txt](#) に記載しているとおりに操作すると、各品種の平均を比較し、それぞれの有意差をアルファベット表記したリストを出力してくれます。これを箱ヒゲ図に合わせたものが下図です。

